

ラグビーワールドカップリミテッドによる会場視察について

1 会場視察及び今後のスケジュール

- ラグビーワールドカップリミテッド（RWC L）が会場スペースの活用を検討するため、12開催都市の試合会場を視察・調査
 - ・日程：平成28年4月4日から26日（東京スタジアムは4月18日、19日）
 - ・視察者：RWC L及びラグビーワールドカップ2019組織委員会の実務担当者
 - ・報告書：6月、視察報告書を組織委員会がRWC Lから受領
- 報告書は、RWC Lが、各会場の課題を組織委員会と各開催都市が共有するため作成
- 今後、組織委員会は、各開催都市と会場運営計画を作成し、平成28年12月までにRWC Lに提出

2 視察報告書概要

各会場に共通する主な事項

(1) 主に組織委員会に関すること

○ 会場運営能力

組織委員会は、日本ラグビーフットボール協会等と連携し、トップリーグやスーパーラグビー等、多くの集客を見込めるイベントを開催する機会を得ていくべき

○ 芝フィールド

国際的にはハイブリッド芝が耐久性等の面で好ましいとRWC Lは認識。日本の天然芝の質について、RWC Lと組織委員会の主導によるさらなる調査が必要

○ 照明

2019年の放送に関する要件を満たすには照明の大幅な改良が必要。組織委員会は、2015年大会での照明基準を修正すべき

(2) 主に開催都市に関すること

○ ホスピタリティ・スペース

多くの会場でスペースが不足。特に重要な試合を行う会場で大会スポンサー等向けホスピタリティを実施可能にすることが必要

○ 運営上の制限

試合スケジュールに影響を及ぼすような制限がないように、各開催都市に求めていく

○ 売店の決済方法

ほとんどの会場の売店が、「現金のみ」であり、決済方法の多様化が必要

東京スタジアムに関する主な事項

(1) 全般的事項

- ・開幕戦や予選プールの重要な試合のほか、準々決勝2試合及び3位決定戦の会場ともなりうる。周辺には建設中の建物があり、さまざまな利用機会が考えられる
- ・スペースが豊富でピッチへのアクセスもよく、開会式に極めて適した会場

(2) 個別事項

○ 運営席及びメディア席

運営のための仮設座席の設置を検討。上層スタンドに別途必要な数のメディア席を増設すること等を提案

○ 輸送・交通

大型バスまたは自動車の利用者向けに、会場のすぐ横に適切な乗降車場が必要。また、大会スポンサー等向け駐車スペースも必要

○ その他必要な施設

武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）は、ホスピタリティ、国際放送センター、スタッフ用施設などに優れた機会を提供